

# 吸光光度計の測定精度を保つために

ハンナでは、残留塩素計をはじめとする吸光光度計シリーズを多数販売しております。ポータブル型のほか、手のひらサイズのチェッカーHCシリーズも人気があり、多くのお客様にご使用いただいております。

これら吸光光度計の測定には、測定するサンプル水を入れるガラスセルや専用の試薬が必要で、ガラスセルの汚れやキズ、または試薬の保管状況により、信頼性の高い測定が行えないことがあります。このページでは、より良い使用環境での測定を行うためのメンテナンスや注意点をご案内いたします！

## <測定用ガラスセル>

吸光光度計の測定に使用するガラスセルの状態は測定値に影響を与えます。

具体的にはキズ、汚れ、指紋、水滴、そしてガラスセル内側の着色です。

汚れや水滴、指紋はセル面清浄用布(HI 731318)またはガラスにキズを付けない柔らかい布を使用し、測定前にきれいに拭くことが大切です。特にガラスセルの外側に水滴が付いたまま測定器に挿入すると、故障の原因にもなりますのでご注意ください。

また、測定後に試薬と反応し発色した溶液を入れたままにすると、ガラスセルの内側が着色し水洗いだけでは除去するのが難しくなります。これを防ぐために測定後は速やかに水で濯いでください。なお着色が除去できない場合にはセル用洗剤液(HI 93703-50)を使用し洗浄を行ってください。



測定用ガラスセル  
(製品によって径が異なります)



セル用洗剤液 230mL  
(品番：HI 93703-50)



セル面清浄用布 4枚入り  
(品番：HI 731318)

## <セル用洗剤液 HI 93703-50の使用法>

HI 93703-50はエタノール系の溶液です。引火性のある場所でのご使用は避け、直射日光の当たらない冷暗所で保管して下さい。使用時以外はキャップをしっかりと締めて下さい。

- ① ガラスセルを水で濯ぎます。
- ② セルの半分ほどまで洗剤液を入れ蓋をし、セル全体に行き渡るように何度か振ります。
- ③ その後、洗剤液を廃棄し精製水などで十分に濯いでからご使用ください。

※セル内の着色が残っている場合には、セル面清浄用布またはガラスにキズを付けない柔らかい布を使用し内側を拭き取ってください。ただし洗剤液を使用しても効果がない場合や、ガラスセルのキズや汚れが目立つ場合には新しいガラスセルをご購入ください。

## <試薬の保管方法>

吸光光度計の多くは、測定時に専用の試薬を使用します。

試薬には製品によって粉末、液体、錠剤タイプがありますが、信頼性の高い測定を行うためには試薬の管理がとても大切です。

まず、試薬は直射日光を避け、湿気のない冷暗所にて常温で管理してください。

試薬が粉末の場合、冷蔵庫や外気との温度差がある場所で保管しますと、使用時に結露が発生し、粉末試薬が湿気を帯びてしまうことがあります。

湿気を帯びると変色をしたり粉末が固まってしまう、信頼性の高い測定が行えません。

特に夏場は湿気による劣化が起きやすいです、ご注意ください。

これを防ぐための1つの手段として「チャック付きの袋に防湿剤と一緒に保管」が挙げられます。これにより、湿気による影響を最小限に抑えることができます。

次に、試薬の有効期限は粉末、液体、錠剤ともに未開封の場合には外箱やボトルに記載のある年月まで使用可能です。ただし、液体の場合には開封後約3ヶ月となっておりますので、できる限り早めにご使用ください。



粉末試薬の保管方法例

吸光光度計の製品一覧は[こちら](#)

ご質問やお問い合わせは[こちら](#)